

作成年月日	令和3年1月13日
作成部局	企画県民部 防災企画局 復興支援課

知事コメント「震災26年を迎えて」

阪神・淡路大震災から26年を迎えます。亡くなられた方々に心から哀悼の誠を捧げるとともに、困難を乗り越えてこられたご遺族や被災者の皆様に改めて敬意を表します。

多くの尊い命を一瞬のうちに奪い去り、ふるさと兵庫の街並みに深い傷跡を残した阪神・淡路大震災。私たちは、県民、団体、企業、行政が一つとなって、21世紀の成熟社会を見据えた創造的復興を成し遂げてきました。

その過程で得られた経験や教訓は、東日本大震災をはじめ、内外の被災地復興に生かされています。

一方、被災地・兵庫でも震災を経験していない県民が増えつつあります。決して、震災を風化させてはなりません。「忘れない」「伝える」「活かす」「備える」を基本コンセプトに、震災の経験と教訓を広く発信し、次なる災害への備えや防災対策の充実につなげる取り組みを、県民の皆様とともに進めています。

昨年、新型コロナウイルス感染症という新たな脅威が私たちを襲い、いまなお予断を許さない状況が続いています。26年前の阪神・淡路大震災を、県民一丸となって乗り越えてきた私たちなら、今回の危機もきっと乗り越えられるはずです。誰もが安全安心な暮らしを送ることができる日常を、そして地域の元気と活力を一日も早く取り戻すため、これからも全力で立ち向かってまいります。

コロナ禍は、目の前の危機であると同時に、社会を変革する大きな転機になっています。新たな時代潮流を踏まえながら、地域創生やデジタル化に取り組むとともに、安全安心の基盤づくりをより一層力強く推進していかねばなりません。

兵庫県では、建物の耐震化や、防潮堤、治山ダム、砂防えん堤の整備、河川改修など、しなやかで粘り強い社会基盤整備を進めています。また、津波一斉避難訓練や避難行動要支援者の個別支援計画の作成支援、自主防災組織等の地域防災力の向上、感染症に対応した避難所の確保など複合災害への備えに力を注いでいます。

さらに、南海トラフ地震や首都直下地震など巨大災害への備えとして、関西広域連合による広域的な応援体制の構築、事前の備えから復旧復興までを担う専門機関「防災庁」の創設に向けた提案などを進めます。

こうしたソフト・ハード両面からの取り組みを継続していくことが重要です。そのうえで、家庭や地域、職場などあらゆる生活の場面で、一人ひとりが防災について考え、行動する「災害文化」のさらなる定着をめざします。

阪神・淡路大震災を乗り越え、力強く立ち上がってきた兵庫だからこそ、その先頭に立って歩んでいかねばなりません。

コロナ禍を乗り越え、ポストコロナの明るい社会の姿を描きながら、安全安心の礎を築き、豊かで質の高い「すこやか兵庫」の実現に向けて、全力で取り組んでいきます。

令和3年1月17日

ひょうご安全の日推進県民会議会長
兵庫県知事 井戸敏三

「ひょうご安全の日のつどい」の実施

1. 17のつどい（追悼行事）

阪神・淡路大震災の犠牲となられた方々へ哀悼の誠を捧げるとともに、安全・安心な社会づくりに向けて歩む決意を国内外や次世代に発信する「1. 17のつどい」を開催する。



[1.17のつどい]

1 場 所

HAT神戸（人と防災未来センター慰霊のモニュメント前）

2 日 時

令和3年1月17日（日） 11:50～12:25

3 次 第

時 間	内 容
11:50	献奏曲①（県立西宮高等学校音楽科生徒） 「マニフィカト」より「エスリエンテス」 ラター作曲
:58	開会のことば（県民会議副会長：県議会議長）
12:00	黙 禱 「カリオンの鐘」鳴鐘（なぎさ小学校児童）
:01	主催者代表挨拶（県民会議会長：兵庫県知事）
:10	子ども達からのメッセージ（なぎさ小学校児童 渚中学校・舞子高等学校生徒）
:13	献唱曲 ～ しあわせ運べるように～ （合唱：なぎさ小学校児童）
:18	1.17ひょうご安全の日宣言（県民会議企画委員長）
:20	献奏曲②（県立西宮高等学校音楽科生徒） 「アヴェ・マリア」 カッチーニ作曲
:25	献花 ※以降、自由献花（17:00 まで）

4 新型コロナウイルス感染防止対策

- ・ 首都圏など感染拡大地域との往来を抑制するため、県外からの参加見合わせ
 - ・ 適正な座席間隔を確保するため、招待者席数を見直し
 - ・ ロープによるゾーニング等により、一般参加者の密集を防止
 - ・ 一般献花の時間を拡大し、一般献花者の密集を防止
（「追悼行事終了後～17:00」→「5:46～17:00 [追悼行事を除く]」）
- * 参加できない県民に向けて、追悼行事の様子をウェブでリアルタイム配信

※「メモリアルウォーク」「交流ひろば・交流ステージ」「防災訓練」は中止

【参考】 5時46分行事

1 趣 旨

阪神・淡路大震災が発生した午前5時46分に、県幹部職員による震災犠牲者の追悼のための黙祷、鳴鐘及び知事訓示等を実施し、安全・安心な社会づくりを誓う。

2 実施場所

時 間	実施内容	場 所
5 : 4 0	集 合	県庁2号館13階 みどり展望園
5 : 4 6	黙 祷 鳴 鐘	
6 : 0 0	知事訓示	県庁2号館5階 庁議室
6 : 3 0	解 散	

※ 政策会議構成員（除く、参事、各県民局長・各県民センター長、東京事務所長）

<問い合わせ先> 企画県民部防災企画局復興支援課復興調整班 TEL078-362-4354